

平成 27 年度 サービス管理責任者研修

地域生活（知的・精神）分野 演習

【事前課題、について】

事前課題

「自己紹介シート」の作成

- ・作成するシート：事前課題 自己紹介シート
- ・使用日：1 日目 (12/24) の導入時
- ・必要枚数：お手元に 1 部、ご用意ください

演習はグループでおこないます。グループ内には、すでに顔見知りの方もいれば、本研修で初めて会う方もいます。導入時に自己紹介をおこなうことにより、演習がスムーズに進むことと思います。活発な演習がおこなわれることを目的とし、作成してください。なお、記入できる範囲でかまいません。

事前課題

「ニーズ整理表」の作成

- ・作成するシート：事前課題 ニーズ整理表
- ・使用日：1 日目 (12/24) の演習時
- ・必要枚数：2 部印刷をして、ご持参ください

（受講生ご本人分とファシリ分となります）

事例概要を読み、ニーズ整理表を作成してください。実際に事業所で使用している書式と違うため、書きにくさを感じると思いますが、お願いします。

自己紹介シート

分野別演習時にグループ内で自己紹介をします。1分以内で自己紹介ができるようにアピールの要点をまとめ、あなたらしさを伝えて下さい(グループメンバーへ配布しません)。

作成した自己紹介シートを全文読みあげますと、1分以内ではおさまりません。1分という発表時間を意識した要点整理とイメージ作りがポイントです。

項目	内容	内容説明
氏名		
所属		現在勤務している所属先をご記入ください。
自分の ストレングス		ご自身で感じている「持ち味」や「強み」をご記入ください。
自己アピール		グループメンバーに伝えたい、ご自身のアピールポイントをご記入ください。 趣味や特技等でも結構です。

ニーズ整理表の作成

事例)

神奈川二郎さんは、PK 食品会社に勤務しています。以前より、A 市の委託を受けている B 相談支援事業所が、二郎さん及び両親と、今後の生活や仕事に関する相談をおこなってきました。

二郎さんや両親の意向を踏まえ、神奈川二郎さんは自立した生活をするためにグループホームを利用する方針が固まりました。

二郎さんや両親と協議しながら、B 相談支援事業所が地域でのサービス調整をおこない、C グループホームの利用に至りました。

あなたは、C グループホームのサービス管理責任者として、事前課題に取り組んでください。

サービス管理責任者であるあなたは、二郎さんの正式な受け入れをすることを前提に、二郎さんがグループホームを、どのように利用するのか、どのような支援をおこなうのか、といった「個別支援計画」を作成するために、「個別支援会議」をおこないたいと考えています。

あなたは、この会議に参加するにあたり、事前準備として

- ・ サービス等利用計画書
- ・ 演習事例の概要
- ・ アセスメント票

をもとに、ニーズの整理をおこない、「ニーズ整理表」に記載してきてください。

なお、作成に関しては、下記の別紙資料もご参照ください。

別紙 1 「課題整理のポイント」

別紙 2 「ストレングスについて」

演 習 事 例 の 概 要

事例タイトル	両親に頼らず、自立した生活がしたい。
相談経過 要約	<p>養護学校卒業後、PK食品会社に就職(正社員)。平穏な生活を送っていたが、兄の結婚を機に自分の将来について考えるようになる。</p> <p>今は両親と一緒に暮らしているが、将来は自立した生活をしたい。</p>
年齢・性別・手帳・区分	<p>〔年齢〕26 才 〔性別〕男性</p> <p>〔療育手帳〕B2 〔障害支援区分〕3</p>
家族構成・家族状況・現在の居住歴	<p>〔家族構成〕父・母・兄・本人</p> <p>〔家族状況〕父：あまり本人のことに深く関与しない。</p> <p style="padding-left: 40px;">母：口うるさいが、本人の将来を心配している。将来は兄に面倒を見てもらうことはできないと考えており、自立した生活ができるようになってほしいと願っている。</p> <p style="padding-left: 40px;">兄：結婚して県外で生活している。</p>
生活歴・病歴	<p>〔生活歴〕</p> <p>神奈川県A市で出生、幼少期は特筆すべきこともなく過ごす。小学校、中学校と普通級に在籍していたが、勉強についていけない、また対人関係が苦手なこともあり(いじめられ一時学校に通えないこともあった)、中学校3年時、児童相談所に相談。広汎性発達障害と軽度の知的障害があることがわかり、中学校卒業後は養護学校に進学する。養護学校ではいじめられることもなくなり、のびのびと学校生活を送ることができ、バスケットボールクラブのキャプテンとしても活躍。本人も養護学校時代が一番楽しかったとの印象がある。</p> <p style="padding-left: 40px;">性格はまじめで几帳面だが、反面拘りもありストレスを溜めやすい。</p> <p>〔病 歴〕</p> <p>中学3年時、たびたび通学できず、学校の先生からの勧めもあり児童神経科を受診し、安定剤を服用するようになる。現在月に1回通院しており、状態はほぼ安定している。</p>
経済状況	〔障害年金〕2級・〔給与〕12万円・〔貯金〕300万円
相談に至る経緯	母が本人の将来について不安を感じるようになり、A市役所障害福祉課に相談したところ、B相談支援事業所を紹介された。相談支援専門員からCグループホームを紹介される。
本人が望んでいる暮らし	友達と楽しく過ごしたい、自立した生活がしたい。
本人の状況と最近の様子	休日に運動する機会も減り、養護学校時代の友人とゲームセンター等で時々過ごすこともあるが、一人で過ごすことが多くなっている。ただ養護学校で知り合った女性とは今も交際があり、映画を見に行く等している。
その他	

アセスメント票

相談日時	平成 27 年 10 月 30 日 13:00～14:00
氏名等	神奈川二郎(26 歳) 男 療育手帳 B2、広汎性発達障害 障害支援区分 3
福祉サービスの利用等	PK 食品会社(8:30～17:30)時々残業あり。 月 1 回 クリニックに通院(児童精神科系列のクリニック) 福祉サービスの利用経験なし。
心身の状況	身長 173 cm 体重 60kg やせ型 月 1 回の通院、服薬しており精神状況はほぼ安定している。 薬は母が管理しており飲み忘れることはない。
精神面の状況	やさしい性格だが、自分の気持ちをうまく伝えられない、また嫌なことを我慢してしまうためストレスが溜まりやすい。ストレスを発散する手段として、母に対し、激しくはないが暴力や暴言等あたることがある。
生活の自立度	ADL は自立しているが、身だしなみがだらしないところがある他、朝が弱く、寝起きが悪い ため、いつも母に起こしてもらっている。 公共交通機関を利用して単独で外出する。 金銭管理は月の小遣い管理程度。 食事作りや献立に応じた買い物等、生活に必要な買物は行ったことがない。 仕事は無遅刻、無欠勤。言われたことは真面目に行うため会社の評価は高い。
気持ちの自立度	自立したいとの気持ちは強い反面、母に依存し毎朝起してもらう、また困ったことがあると常に母親に相談し、納得ができないと暴力や暴言を吐くこともある。
経済状況	障害年金 2 級、給与 12 万円、貯金 300 万円。 金銭管理は母が行っている(月の小遣いは本人が管理している)。
趣 味	マンガとゲーム。マンガはワンピースが大好きで、最新刊が出るのを心待ちにしている。 昔は、休日に養護学校時代の友人とゲームセンターに行くこともあったが、最近は少なくなってきた。
キーパーソン	母:グループホームに入居することに了解はしたが、本当に大丈夫なのか心配している。
家 族	父:仕事が忙しく一緒に過ごす時間は短い、年に 1 回は旅行に行っている。最近は二郎が旅行に行きたがらないため寂しさも感じている。 母:やさしいが心配性であり、二郎の面倒を何でもしてしまう。また、何かと口出しをするため父に注意されることもあるが、二郎の将来を心配している。 兄:本人が 24 才の時に結婚し県外に住んでいる。年に 2 回は実家に帰り二郎とゲーム等の相手をしてくれる。二郎と兄嫁との関係は良好である。
本人の最近の状況	会社は休むことなく出勤し評価も高い。 最近、ゲームセンターもあまり楽しくないと、家で過ごすことが多くなっている。
その他	

所属 _____

名前 _____

ニーズ整理表

本人の希望や願い	現状 (本人・家族・環境の現状)	ストレングス (本人・家族・環境の強み)	支援の可能性 (支援者の見立て)

100文字アセスメント

--

ニーズ整理表

本人の希望や願い	現状 (本人・家族・環境の現状)	ストレングス (本人・家族・環境の強み)	支援の可能性 (支援者の見立て)
<ul style="list-style-type: none"> ● 箇条書きします。 ● ここで出された項目ひとつひとつに対し、 _____ の順番で整理していきます。 ● 本人・家族で内容が異なる場合、 (本人)(家族)と分けて記入してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本人・家族の希望や願いに関連する現在の状況を記入してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本人・家族の希望や願いと現在の状態から関連するストレングスについて記入してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 左の三つの事柄を踏まえ、解決するために必要な内容を記入します。この内容が個別支援計画の支援目標になることを意識してください。

１００文字アセスメント

「私は・・・」で始めます。参考として・・・

・「私は病院や施設に入らずに自宅で介護者のサポートを受けながら生活していきたい。でもこのままだと夫の体調やお金の負担も心配……。だれか私を介助してくれる人がきてくれないかしら……。 (８７字 身体障害 肢体不自由のある人)」

・「ぼくは入院して１０年目。日常家事はうまくできないけれど退院後はお金を自由に使ったり、人を気にせず自分のペースで生活したいので、アパートでひとり暮らししたい。でも保証人もいないし……。それにどんなひとり暮らしになるのかなぁ？ (１０８字 精神障害 統合失調症のある人)」

・「ぼくは今の家で暮らしながら、そのうち作業所でなくちゃんと働きたい。だけど話の理解も作業も遅いし、皆についていけずにちょっと不安もある。また体調不良の母親もいるし、何かとうるさい兄もいてどうしていいか困っているんだ。 (１０９字 知的障害のある人)」

(引用：駒澤大学准教授 佐藤光正先生 相談支援従事者初任者研修)

本人状態を把握するためのイメージ図

私自身のストレングス(私の持っている強み)

母親、妹が私を理解して接してくれています。相撲、野球、アイドルの音楽が好きです。

本人の障害状況のアセスメント

私の不安や苦痛、悲しみ、困りごとは・・・障害のこと・病気のこと・障害のためにできないこと、...

個別支援計画



家族歴・本人を取り巻く環境のアセスメント

私は今このような生活をしてます。してきました。

利用者のニーズ・希望する生活の確認

私は、このような生活をしたいです。私の願い・夢・要望は です。

生育歴・職歴のアセスメント

私は、今までこのような生き方をしてきました。

★本人のニーズを整理する

⇒アセスメント内容を吟味し、本人のニーズを整理します。「みたて」

ストレングスモデル

チャールズ・ラップ / リチャード・ゴスチャ著『ストレングスモデル』

ストレングスモデルとは

主に精神障害のケースマネジメントなどで発展した考え方。
現在では、身体障害、知的障害においても応用されている。

「ストレングス (Strength)」とは

ケアプランを作るときにポイントになる、
本人と環境の両方にある強さのことをい
い、ストレングスモデルとは、全ての人や
その人を取り巻く環境には、ストレングス
があるので、それを中心にアプローチし
て行こうとする考え方をいう。

- ・ **本人のストレングス**
個人の属性 (性質・性格)
才能・技能
関心・願望
- ・ **環境のストレングス**